

研究・調査報告書

報告書番号	担当
105	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
Alcohol intake and hypertension subtypes in Chinese men 中国人男性におけるアルコール摂取と血圧区分の関係	
執筆者	
Rachel P. Wildman, Dongfeng Gu, Paul Muntner, Guangyong Huang, Jichun Chen, Xianfeng Duan and Jiang He	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Journal of Hypertension 2005, 23:737-743	
キーワード	
収縮期高血圧(ISH)、 拡張期高血圧(IDH)、血圧、中国	
<p>要 旨</p> <p>降圧薬を服用していない中国人男性 5317 人対象の全国調査で、週に 30 単位以上の多量飲酒者は、収縮期高血圧 (収縮期血圧 > 140mmHg かつ拡張期血圧正常)、拡張期高血圧(拡張期血圧 > 90mmHg かつ収縮期血圧正常)、収縮期拡張期高血圧「(収縮期血圧 > 140mmHg かつ拡張期血圧 > 90mmHg) の危険がそれぞれ非飲酒者に比べ 2.0、2.2、2.1 倍増加し、人口寄与危険度は 13.9%、13.4%、12.0%だった。中国において高血圧者を減少させるためには多量飲酒の抑制策が重要であることが示唆された。</p>	